

事業報告書 (第6期)

(令和3年1月1日～令和3年12月31日)



公益財団法人 国際人材交流支援機構

目 次

I はじめに－IHNOの基本理念	3
II 基本方針.....	3
III 事業報告.....	3
1 奨学金給付事業(定款第4条第1項第1号)	3
(1) 奨学金の給付	3
(2) 奨学金プログラム等についての広報・啓発	4
2 進路(進学・就職)支援事業(定款第4条第1項第2号)	6
3 その他の事業(定款第4条第1項第6号)	6
4 法人運営・管理	6
(1) 寄付.....	6
(2) 賛助会員.....	6
(3) 内部規程の徹底及びコンプライアンスの確保.....	7

I はじめに－IHNOの基本理念

公益財団法人国際人材交流支援機構(IHNO)は、わが国における少子高齢化社会の進展とグローバル経済の加速度的発展に伴う労働力供給環境の多様化という現状に鑑み、将来のわが国そして世界の成長と発展を担うべき人材、すなわち、意欲あふれる若年の学生ないし留学生を積極的に支援することにより、もって、わが国及び世界にとって有用な人材の育成に寄与することを使命とする団体です。

特に、有用な人材に対して、奨学金プログラムの実施による支援を行うことにより、これらの人材が有意義に学びかつ働く環境の創出に寄与して参ります。誰もが活躍できる社会創りに貢献することが、私たちIHNOの基本理念です。

IHNOは、今期も、上記基本理念を一層具体化するべく、諸事業を実施いたしました。

II 基本方針

本年度は、以下を中心に事業活動を行いました。

- ① 学生ないし留学生の就学環境等の改善を支援するための奨学金の給付事業を引き続き実施するとともに、当法人の行っている奨学金給付事業の普及を図るため、説明会を積極的に開催するなどして、広報・啓発活動を行いました。
- ② 進路支援事業、グローバル人材の育成支援事業等に関しては、準備活動を継続しました。
- ③ 法人運営・管理においては、コンプライアンスに努めました。

III 事業報告

IHNO定款第4条第1項においては、IHNOが行う事業として、以下の6事業が列挙されております。

- ① 学生・留学生に対する奨学金の支給
- ② 学生・留学生に対する進路(進学・就職)支援
- ③ 学生・留学生に対する専門人材育成プログラムの開発
- ④ グローバル人材の育成支援
- ⑤ 将来活躍が期待される人材(学生・留学生)が学ぶための生活環境の支援
- ⑥ その他IHNOの目的達成に必要な事業

以下、定款における上記各事業項目を中心に今期において実施した具体的な事業の実施状況を掲げ、また、当法人の運営・管理に関する状況について報告いたします。

1 奨学金給付事業(定款第4条第1項第1号)

(1) 奨学金の給付

「IHNO奨学金給付規程」に基づくIHNO奨学金プログラムを策定し、勉学に励み、かつ、勤労に熱

心に取り組む意欲あふれる学生又は留学生に対し、就学環境の改善を支援するため、適格性を有する者に対する奨学金の給付を行いました。

令和3年1月12日に今期初めてとなる審査委員会を開催し、その後原則として毎月10日頃を開催いたしました。当該委員会を合計 12 回(1/12・2/10・3/10・4/12・5/12・6/10・7/12・8/10・9/10・10/11・11/10・12/10)開催し、奨学金受給資格の付与及び奨学金給付について審査を行いました。

その結果、のべ 3,412 名(うち給付受給者 2,830 名)の奨学生に対して奨学金を給付することを決定し、毎月15日に奨学金の給付を実施しました。

(2) 奨学金プログラム等についての広報・啓発

INHO奨学金プログラム及び INHO が行っている事業等を説明するために、当法人役員が国内の関係諸機関を訪問するなどし、同プログラム等についての広報・啓発活動を実施しました。今期も新型コロナウイルス感染症が蔓延する状況の中、可能な限りで訪問等を行いました。

① 国内

大学、専門学校、日本語学校等を中心に、以下の日程にて訪問し、IHNOプログラムの説明等を実施しました。

- 1月8日 日産栃木自動車大学校
- 1月12日 敬心学園
- 1月13日 日本プリンティングアカデミー
- 1月15日 滋慶学園
- 1月27日 コミュニカ学園(WEB)
- 1月28日 滋慶 EAST 本部
- 2月1日 東京工科自動車大学校
- 2月5日 日産栃木自動車大学校(説明会)
- 2月5日 帝京大学(説明会)
- 2月12日 NSG 国際総合学園(奨学金 WEB 説明会)
- 2月17日 ISI グローバル
- 2月18日 日産横浜自動車大学校
- 2月22日 日本プリンティングアカデミー(奨学金説明会)
- 2月24日 穴吹学園(奨学生 WEB 説明会)
- 2月26日 栗原学園
- 3月2日 ISI グローバル
- 3月3日 電子学園
- 3月15日 新潟工業短期大学(WEB)
- 3月16日 Adachi 学園
- 3月17日 日産栃木自動車大学校
- 3月23日 加計学園(奨学生 WEB 説明会)
- 3月24日 近畿大学(奨学生 WEB 説明会)

4月8日 Adachi 学園
4月9日 帝京大学
4月12日 開智国際大学
4月19日 浦山学園
4月20日 広島工業大学
4月26日 Adachi 学園(奨学金 WEB 説明会)
5月7日 永興日本語学校(奨学金 WEB 説明会)
5月10日 日本工学院八王子専門学校
5月11日 東北電子専門学校
5月12日 開智国際大学(奨学金 WEB 説明会)
5月18日 北海道大学アフリカルサカオフィス(WEB)
5月24日 浦山学園
5月26日 龍馬学園
5月28日 神戸電子専門学校
5月28日 日本工科大学校
6月2日 日本国際語学アカデミー(奨学金 WEB 説明会)
6月3日 MANABI 外語学院(奨学金 WEB 説明会)
6月18日 滋慶学園 East(奨学金 WEB 説明会)
6月21日 永興日本語学園(奨学金説明会)
6月25日 麻生塾
6月25日 アジア日本語学院(奨学金説明会)
7月14日 日本電子専門学校(奨学金説明会)
7月16日 仙台国際日本語学校(奨学金 WEB 説明会)
7月20日 北見情報ビジネス専門学校(奨学金 WEB 説明会)
7月28日 龍澤学館
8月4日 京都ホテル観光ブライダル専門学校(WEB)
8月24日 東北電子専門学校(奨学金説明会)
9月1日 カナン国際教育学園
9月15日 富山情報ビジネス専門学校(奨学金 WEB 説明会)
10月6日 河原学園(WEB)
10月6日 龍馬学園(奨学金説明会)
11月2日 新潟工業短期大学(奨学生面接)
11月10日 北海道大学(WEB)
11月14日 ネパールの奨学生懇談会
11月17日 河原学園(奨学金説明会)
11月22日 カナン国際教育学園(奨学金説明会)

- 11月25日 龍澤学館(奨学金説明会)
- 11月26日 中央カレッジグループ
- 12月7日 加計学園(奨学金説明会)
- 12月14日 麻生塾(奨学金 WEB 説明会)

② 海外

コロナ禍の影響により海外を訪問することはできませんでしたが、ネパール、インドネシア、カンボジア、ミャンマー、ベトナム、中国など、オンラインで IHNO プログラム等についての広報・啓発活動を実施いたしました。

2 進路(進学・就職)支援事業(定款第4条第1項第2号)

奨学生として認定されてから1年を経過した者に対して、奨学生となった後に生じた学習環境の変化、勉学・勤労の状況等について作文の提出を求めるとともに、面接を実施しました。面接の中では、進路(進学・就職)に関する個別相談も受け、アドバイスを提供しました。

実施日:

(対面)6月10日・9月6日・9月7日・9月8日・9月9日・9月14日・11月2日・12月7日

(オンライン)1月18日・1月20日・1月21日・1月27日・4月27日・6月10日・9月8日・11月9日

延べ61人

3 その他の事業(定款第4条第1項第6号)

今期も、新型コロナウイルス感染症の影響により、国際交流セミナー(IHNO奨学金プログラムにより支援を受けた奨学生の経験談その他の知見等を共有し、当法人の活動理念である学生又は留学生への支援を通じた有為な人材育成の普及・啓発のため、奨学生、奨学生勤務先企業、日本語学校、賛助会員その他広く一般を対象としたセミナー)の実施にはいたらず、引き続き準備活動を行いました。

4 法人運営・管理

(1) 寄付

今期も、株式会社アウトソーシング・グループより総額1億円を超える多額の寄付を受け取りました。

(2) 賛助会員

今期も、引き続き、当法人の活動の安定と拡大を企図し、また、当法人の活動理念を広く普及するために、賛助会員を随時募集しました。今期は協定校会員64校(84万円)、法人会員1名(10万円)が賛助会員となりました。(金額合計は94万円)

(3) 内部規程の徹底及びコンプライアンスの確保

今期も、引き続き、当法人の定款及び内部諸規程に沿った当法人の適正な運営に努め、かつ、コンプライアンスの確保に努めました。

決算報告書

自 令和 3年 1月 1日
至 令和 3年12月31日

公益財団法人国際人材交流支援機構

東京都千代田区永田町 2 - 1 7 - 1 7

貸借対照表

令和 3年12月31日現在

公益財団法人国際人材交流支援機構

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	40,297,239	25,653,622	14,643,617
前 払 費 用	645,762	333,654	312,108
流動資産合計	40,943,001	25,987,276	14,955,725
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
普 通 預 金	3,000,095	3,000,066	29
基本財産合計	3,000,095	3,000,066	29
(3) その他固定資産			
ソ フ ト ウ ェ ア	0	3,960,000	-3,960,000
敷 金	2,633,148	2,633,148	0
その他固定資産合計	2,633,148	6,593,148	-3,960,000
固定資産合計	5,633,243	9,593,214	-3,959,971
資産合計	46,576,244	35,580,490	10,995,754
II 負債の部			
1. 流動負債			
未 払 金	1,111,532	1,090,439	21,093
未 払 費 用	55,100	10,210	44,890
預 り 金	347,079	216,567	130,512
流動負債合計	1,513,711	1,317,216	196,495
負債合計	1,513,711	1,317,216	196,495
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	45,062,533	34,263,274	10,799,259
正味財産合計	45,062,533	34,263,274	10,799,259
負債及び正味財産合計	46,576,244	35,580,490	10,995,754

正味財産増減計算書

令和 3年 1月 1日から令和 3年12月31日まで

公益財団法人国際人材交流支援機構

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受 取 会 費	940,000	1,010,000	-70,000
賛 助 会 員 受 取 会 費	940,000	1,010,000	-70,000
受 取 寄 付 金	104,000,000	105,020,000	-1,020,000
受 取 寄 付 金	104,000,000	105,020,000	-1,020,000
雑 収 利 益	1,950,217	232	1,949,985
受 取 利 息	437	232	205
雑 収 益	1,949,780	0	1,949,780
経常収益計	106,890,217	106,030,232	859,985
(2) 経常費用			
事 業 費	81,515,912	82,577,667	-1,061,755
給 料 手 当	6,323,027	5,036,956	1,286,071
法 定 福 利 費	974,208	732,215	241,993
奨 学 金	68,740,000	68,680,000	60,000
福 利 厚 生 費	54,018	49,515	4,503
会 議 費	101,777	181,776	-79,999
旅 費 交 通 費	423,711	1,785,005	-1,361,294
通 信 運 搬 費	505,794	817,401	-311,607
減 価 償 却 費	146,666	440,000	-293,334
消 耗 什 器 備 品 費	99,414	3,994	95,420
消 耗 品 費	75,476	67,280	8,196
修 繕 費	0	51,170	-51,170
新 聞 図 書 費	4,180	0	4,180
地 代 家 賃	2,503,116	2,503,116	0
光 熱 水 料 費	60,276	59,047	1,229
交 際 費	240,101	56,313	183,788
賃 借 料	198,492	223,356	-24,864
諸 会 費	100,000	100,000	0
租 税 公 課	910	2,114	-1,204
広 告 宣 伝 費	65,681	177,238	-111,557
支 払 手 数 料	899,065	1,611,171	-712,106

正味財産増減計算書

令和 3年 1月 1日から令和 3年12月31日まで

公益財団法人国際人材交流支援機構

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
管 理 費	10,761,712	8,825,638	1,936,074
役 員 報 酬	300,000	360,000	-60,000
給 料 手 当	2,709,868	2,158,695	551,173
福 利 厚 生 費	23,151	21,220	1,931
法 定 福 利 費	417,518	313,807	103,711
会 議 費	33,495	26,895	6,600
旅 費 交 通 費	181,590	182,471	-881
通 信 運 搬 費	216,769	325,496	-108,727
消 耗 什 器 備 品 費	42,606	1,039	41,567
消 耗 品 費	32,347	28,834	3,513
修 繕 費	0	21,930	-21,930
新 聞 図 書 費	0	2,860	-2,860
地 代 家 賃	1,072,764	1,072,764	0
光 熱 水 料 費	25,832	25,306	526
交 際 費	18,583	5,800	12,783
賃 借 料	85,068	84,002	1,066
保 険 料	140,542	71,336	69,206
支 払 報 酬	3,821,400	3,054,557	766,843
租 税 公 課	390	906	-516
広 告 宣 伝 費	28,149	75,959	-47,810
支 払 手 数 料	291,640	221,761	69,879
委 託 費	1,320,000	770,000	550,000
経常費用計	92,277,624	91,403,305	874,319
評価損益等調整前当期経常増減額	14,612,593	14,626,927	-14,334
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	14,612,593	14,626,927	-14,334
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固 定 資 産 除 却 損	3,813,334	0	3,813,334
経常外費用計	3,813,334	0	3,813,334
当期経常外増減額	-3,813,334	0	-3,813,334
当期一般正味財産増減額	10,799,259	14,626,927	-3,827,668
一般正味財産期首残高	34,263,274	19,636,347	14,626,927
一般正味財産期末残高	45,062,533	34,263,274	10,799,259
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	45,062,533	34,263,274	10,799,259

正味財産増減計算書内訳表

令和 3年 1月 1日から令和 3年12月31日まで

公益財団法人国際人材交流支援機構

(単位：円)

科 目	公益目的事業	法人会計	合 計
	奨学金事業		
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受 取 会 費	470,000	470,000	940,000
賛 助 会 員 受 取 会 費	470,000	470,000	940,000
受 取 寄 付 金	52,000,000	52,000,000	104,000,000
受 取 寄 付 金	52,000,000	52,000,000	104,000,000
雑 収 益	1,949,780	437	1,950,217
受 取 利 息	0	437	437
雑 収 益	1,949,780	0	1,949,780
経常収益計	54,419,780	52,470,437	106,890,217
(2) 経常費用			
事 業 費	81,515,912	0	81,515,912
給 料 手 当	6,323,027	0	6,323,027
法 定 福 利 費	974,208	0	974,208
奨 学 金	68,740,000	0	68,740,000
福 利 厚 生 費	54,018	0	54,018
会 議 費	101,777	0	101,777
旅 費 交 通 費	423,711	0	423,711
通 信 運 搬 費	505,794	0	505,794
減 価 償 却 費	146,666	0	146,666
消 耗 什 器 備 品 費	99,414	0	99,414
消 耗 品 費	75,476	0	75,476
新 聞 図 書 費	4,180	0	4,180
地 代 家 賃	2,503,116	0	2,503,116
光 熱 水 料 費	60,276	0	60,276
交 際 費	240,101	0	240,101
賃 借 料	198,492	0	198,492
諸 会 費	100,000	0	100,000
租 税 公 課	910	0	910
広 告 宣 伝 費	65,681	0	65,681
支 払 手 数 料	899,065	0	899,065

正味財産増減計算書内訳表

令和 3年 1月 1日から令和 3年12月31日まで

公益財団法人国際人材交流支援機構

(単位：円)

科 目	公益目的事業	法人会計	合 計
	奨学金事業		
管 理 費	0	10,761,712	10,761,712
役 員 報 酬	0	300,000	300,000
給 料 手 当	0	2,709,868	2,709,868
福 利 厚 生 費	0	23,151	23,151
法 定 福 利 費	0	417,518	417,518
会 議 費	0	33,495	33,495
旅 費 交 通 費	0	181,590	181,590
通 信 運 搬 費	0	216,769	216,769
消 耗 什 器 備 品 費	0	42,606	42,606
消 耗 品 費	0	32,347	32,347
地 代 家 賃	0	1,072,764	1,072,764
光 熱 水 料 費	0	25,832	25,832
交 際 費	0	18,583	18,583
賃 借 料	0	85,068	85,068
保 険 料	0	140,542	140,542
支 払 報 酬	0	3,821,400	3,821,400
租 税 公 課	0	390	390
広 告 宣 伝 費	0	28,149	28,149
支 払 手 数 料 費	0	291,640	291,640
委 託 費	0	1,320,000	1,320,000
経常費用計	81,515,912	10,761,712	92,277,624
評価損益等調整前当期経常増減額	-27,096,132	41,708,725	14,612,593
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	-27,096,132	41,708,725	14,612,593
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固 定 資 産 除 却 損	3,813,334	0	3,813,334
経常外費用計	3,813,334	0	3,813,334
当期経常外増減額	-3,813,334	0	-3,813,334
他会計振替前当期一般正味財産増減額	-30,909,466	41,708,725	10,799,259
当期一般正味財産増減額	-30,909,466	41,708,725	10,799,259
一般正味財産期首残高			34,263,274
一般正味財産期末残高			45,062,533
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高			0
指定正味財産期末残高			0
III 正味財産期末残高			45,062,533

財産目録

令和 3年12月31日現在

公益財団法人国際人材交流支援機構

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)	預金	普通預金		40,297,239	
		三菱UFJ銀行 静岡支店		40,297,239	
	前払費用	アイオス永田町505	事務所家賃1月分	297,990	
		アイオス永田町505	更新料(残30ヶ月分)	248,310	
		東京労働局	労働保険料(概算保険料)	60,630	
		三井住友海上火災保険	役員賠償責任保険1-4月分	38,832	
		流動資産合計			40,943,001
		(固定資産)	基本財産	普通預金	三菱UFJ銀行 静岡支店
その他固定資産	敷金			アイオス永田町505	事務所敷金
固定資産合計			5,633,243		
資産合計			46,576,244		
(流動負債)	未払金	職員	給与12月分	752,088	
		職員	社会保険料12月・賞与分	185,839	
		小見山代表	12/11-12/17交通費	102,258	
		その他5件		71,347	
		未払費用	職員	労働保険料	55,100
	預り金	職員他	源泉所得税7-12月分	237,796	
		職員	社会保険料賞与分	87,283	
		職員	住民税12月分	22,000	
		流動負債合計			1,513,711
		負債合計			1,513,711
正味財産			45,062,533		

公益財団法人 国際人材交流支援機構

財務諸表に対する注記

自：令和3年1月1日 至：令和3年12月31日

I. 重要な会計方針

1. 消費税の会計処理

(1) 消費税等の会計処理は、税込方式によっております。

II. 基本財産の増減額及びその残高

基本財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	3,000,066	29	0	3,000,095
合 計	3,000,066	29	0	3,000,095

III. 基本財産の財源等の内訳

基本財産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
普通預金	3,000,095	(0)	(3,000,095)	(0)
合 計	3,000,095	(0)	(3,000,095)	(0)

公益財団法人 国際人材交流支援機構

計算書類の附属明細書

自：令和3年1月1日 至：令和3年12月31日

1. 基本財産の明細は財務諸表に対する注記に記載している。